

男女共同参画の視点で女性たちが協力し合いエンパワーメントできるような関係をイメージして名付けました。

シスターフッド

(2024.01.10発行 第72号)



～参加、尊重、守秘の精神を大切に～

豊橋女性団体連絡会とは

女性の多様な活動が広がる中で、互いに切磋琢磨し、その持てる力を社会に向けて発揮していくことを目指しています。

「協働と共生」で様々な課題に取り組みながら、女性団体同士の交流を深めています。

令和5年度参加団体

わっぱの会、とよはし未来を拓く会、豊橋おやこ劇場協議会、東三にじの会、新日本婦人の会豊橋支部、とよはし女性フォーラム、NPOとよはしCAP、ハッピーグループ、NPOまんま、豊橋商工会議所女性会、農村輝きネット・東三河ラ・ポール、Kids&MamaNPOねこのて(休会)、JA豊橋女性部会(休会)

◆研修会「6月2日の豪雨災害に関連した防災」を行いました

令和5年9月27日、市役所8階会議室にて、今年度第1回の研修会を開催しました。参加団体8団体、17名が参加しました。

研修前半では防災危機管理課より主幹・河合さんより、「台風2号に伴う大雨の状況」として、本年6月2日の豪雨災害の発生と対応についてご説明がありました。データをもとに災害の状況と対応についてお話があり、続いて今回の水害の最大事となった「浸水と交通の状況」がありました。地形を考えた生活の課題に質問も集中。

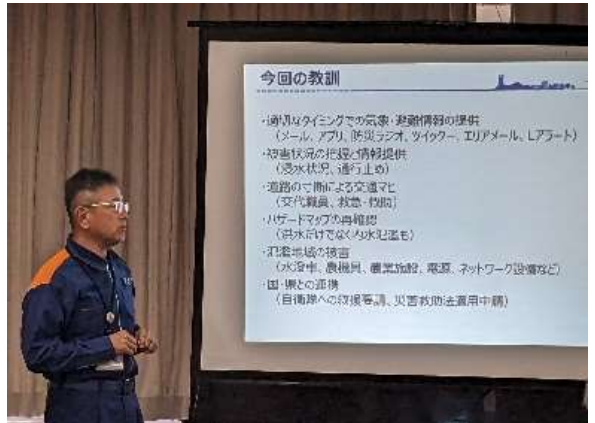
後半は市民協働推進課より課長補佐・文野さんが講師を務め

られ、「災害ボランティアネットワーク」について教えていただきました。災害時のボランティア活動の課題にもつながる視点があり、「今回の教訓」6点のスライドにはとても大切なメッセージが。今後の市の取り組みに関心が高まりました。

また、その後の意見交換タイムは活発で切れ目のない充実したものになりました。

学びを通して指摘されたこと(情報提供では便利・迅速・的確なはずの、電子媒体の基本のチェック、通行止めに関する地元民からの情報の活用、ハザードマップの内水氾濫情報など)が、市の危機管理に即、対応されることを願っています。

なお令和6年1月15日午後、女性防災リーダー座談会が開催されます。女性目線を取り入れた防災対策が急務であるため、防災に関する女性目線での防災対策の参考にするためとのこと。期待しています！



◆「あいち男女共同参画の集い2023」に参加しました

令和5年10月23日、愛知県女性総合センター(ウィルあいち)3階 大会議室行われた「あいち男女共同参画の集い 2023」に当会からも7団体12名が参加しました。

「働く女性の課題と現実～ジェンダーギャップを乗り越えるために知っておきたい10のこと」と題して講演を行った社会保険労務士・キャリアコンサルタントの村井真子氏より、メッセージを寄せられたので紹介します。

【コメント】

この度は貴重な機会をいただき、また皆様に大変熱心に聞いていただけたことに心より感謝いたします。

ジェンダーギャップの解消に向けては私たち女性自身への意識改革も必要です。誰もが尊重される社会の実現に向けてともに手を携えて行動してまいりましょう。(村井真子)



◆令和5年度三遠南信地域女性交流会に参加しました

令和5年10月31日、三遠南信地域女性交流会に豊橋市女性団体連絡会から10団体12名が参加しました。バスの中での交流も弾み、会場の引佐多目的研修センター着。浜松市(14団体22名)、飯田市(6団体11名)の皆さまと合流、一緒に防災について、学び、交流を深めました。

酷暑の夏を経て、気候変動への関心も高いなか、浜松河川国道事務所の中根流域治水係長による講演はタイムリーでした。

昼食休憩タイムには隣接する地域遺産センターや引佐図書館を見学。

午後からは6つのグループに分かれ、「私達にできる風水害への備え～女性団体の視点で考える～」をテーマにディスカッションを実施。

これまでに経験した風水害や対策などについて活発な意見交換がありました。

語り継がれている金原明善の偉業、浜松市の方々が作成された防災スゴロクなどを知り、豊橋市の河川の防災を考える上で活かしたいと思いました。

なお、この交流会については中日新聞2023年11月2日付朝刊ではカラー写真入りで大きく掲載されています。女性が防災を考えることへの注目を感しました。



参加者アンケート集計結果より一部を紹介します。コロナ明けのリアル会への参加者は70歳以上と60歳代以下が半々。来年の交流会への参加をほぼ全員が希望しました。提案されたテーマは「子ども」「歴史」「街の産業」「地域を結ぶ問題」など。

大学生や若い世代の参加が実現する交流会の実現に向けて呼びかけていきましょう！



◆「女性に対する暴力をなくす運動」街頭啓発活動に参加しました



11月12日から同月25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、11月16日16時から豊橋駅前東口広場周辺にて、国際ソロプチミスト豊橋、豊橋人権擁護委員協議会の方々と活動をしました。

今年度は「殴る・蹴るといった身体的暴力だけが暴力ではない」というメッセージと「ひとりで悩まず、相談してください」と相談窓口を紹介することを目的に、メッセージボードを掲げ、「パープルリボン知ってますか？」と声かけをしつつポケットティッシュを渡しました。

運動期間中は、迎賓館赤坂離宮や東京スカイツリーをはじめ、全国のタワーやランドマークがパープルにライトアップされメッセージを発信したそうです。

DVは自分で解決するのは難しい問題です。周りに困っている方がいたら、話を聞いて「あなたは悪くない」ことを伝え、相手の話を「否定しない、責めない、一方的に助言しない」ように気をつけて、必要に応じて相談先を紹介しましょう。



◆第37回豊橋男女共生フェスティバルは1月21日(日)開催です◆

本年は講演会にシンガー・木山裕策氏を迎え、「子育てで深めよう！家族の絆～コロナ禍で見つめ直したコミュニケーションの力～」をテーマに語っていただきます。代表曲「home」のライブも予定。分科会では映画「こどもかいぎ」の上映などが予定され、親子で一日楽しめるイベントになっています。

【奥付】豊橋女性団体連絡会広報誌シスターフッド 2024年1月10日発行
編集・発行担当者 藤城ひとみ(東三にじの会、農村輝きネット・東三河)
渡辺則子(NPO まんま)、村井真子(豊橋商工会議所女性会)